

山元町議会議長 岩 佐 哲 也 殿

総務民生常任委員会
委員長 竹 内 和 彦

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

記

1 調査事項

- | | |
|-----------------------|--------|
| (1) 空き家対策事業について | 10月 3日 |
| (2) 高齢者支援について | 10月18日 |
| (3) 太陽光発電施設の設置届出等について | 11月 1日 |
| (4) インボイス制度について | 11月 1日 |

2 調査結果

(1) 空き家対策事業について

空き家等対策の現状について、説明を受け調査した。

意見

- ① 空き家実態調査等を行うには、現体制では困難であると見られる。本町内では独自調査で実態を把握している行政区もあるが、業務委託等を検討してはどうか。
- ② まちづくり全体にかかわる問題であり、全庁横断的な取り組みと、民間の活用や地域の協力等も検討すべきである。

(2) 高齢者支援について

高齢者の現状、各種施設の利用状況、地域包括支援業務委託について、説明を受け調査した。

意見

- ① 緊急通報対策整備事業について、システムを誰でも簡単に利用できるよう整備を急ぐべきである。
- ② 介護施設と介護サービスを受けたい方が経済的に厳しい状況にある。一方で、介護従事者の高齢化と「なり手不足」が起こっている。介護難民の増加が予想され、

関係機関への働きかけが必要である。

- ③ 介護予防普及啓発事業は、関係機関と連携し、安心して暮らせるよう努るべきである。

(3) 太陽光発電施設の設置届出等について

太陽光発電施設の設置届出等の条例制定について、説明を受け調査した。

意見（条例制定時の留意事項）

- ① 再生可能エネルギー事業については、環境美化、災害に強いまちづくりなどの観点を考慮した条例制定をすべきである。
- ② 事業者への指導、管理を徹底すべきである。
- ③ 行政区長、地域住民の声を十分に反映したものとすべきである。

(4) インボイス制度について

資料に基づき、制度について説明を受け調査した。

意見

コロナ禍である現状において、地域経済が疲弊している中、中小零細事業者、個人事業主への影響を鑑み、制度の実施延期を求める意見書を提出する。今後も動向を注視する必要がある。